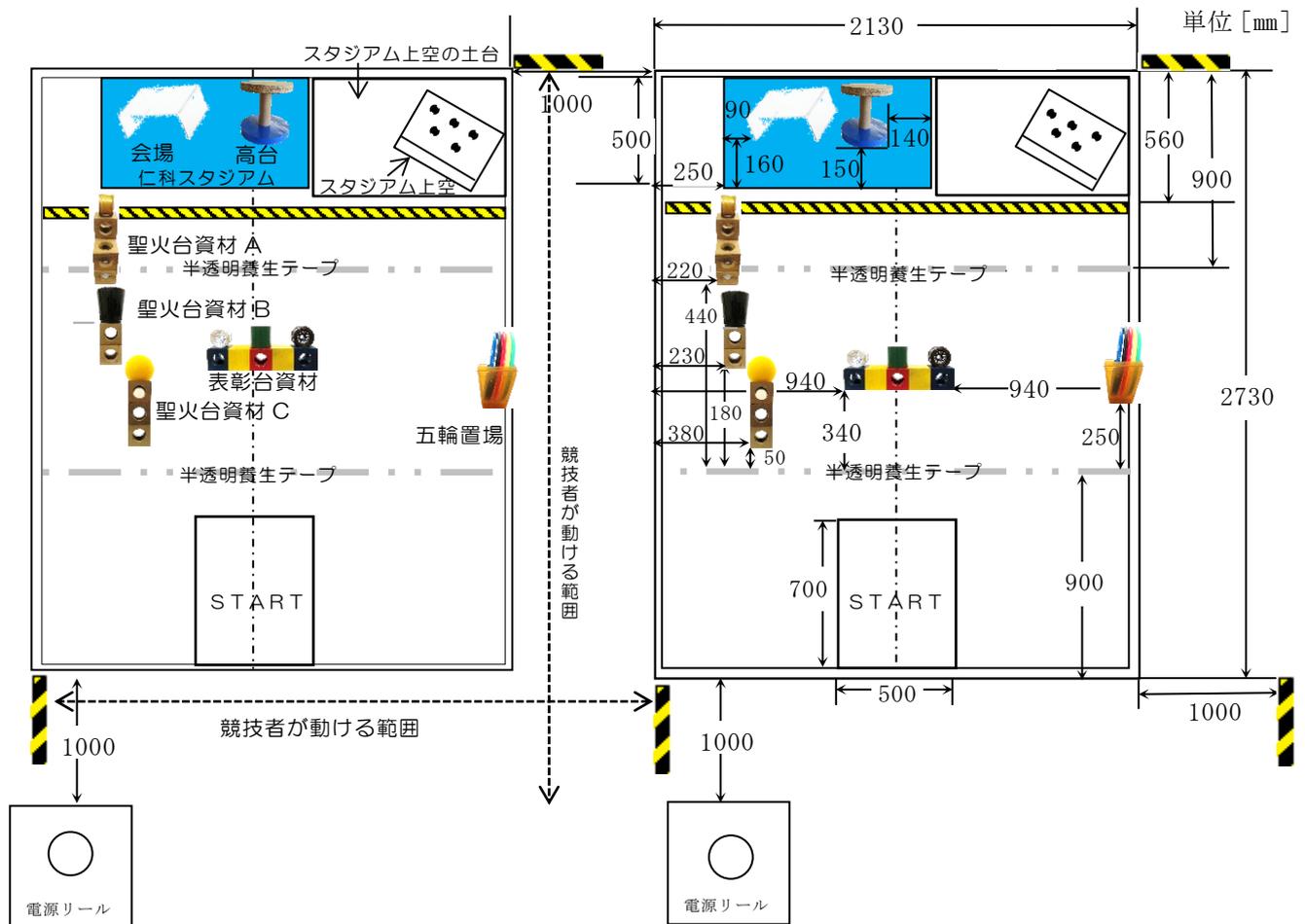


## 高等学校部門用競技台・アイテム・ゴールレイアウト

※競技台・アイテム・ゴールの寸法並びに配置については誤差が伴うことを考慮すること。

図1. 競技台寸法と競技開始時のアイテム・ゴールの配置



1. 競技台は、縦 2730 mm、横 2130 mm、厚さ 3 mm のベニヤ板製で、周囲は幅 12 mm、高さ 12 mm の木製の角材で囲まれている。
2. 競技台の平面は 3 枚のベニヤ板でできており、継ぎ目は半透明養生テープで覆っている。
3. 競技開始時のロボットの位置は、START で示す枠内である。
4. アイテムは、無着色穴あきブロック 12 個、赤色穴あきブロック 1 個、青色穴あきブロック 2 個、黄色穴なしブロック 2 個、緑色円柱ブロック 1 個からなる 5 種類の木製のブロックと黄色スポンジボール 1 個（テニス用のスポンジボール（直径 70 mm MIZUNO 製）、カップ 1 個、タイヤホイール 3 個（金・銀・銅）、輪投げの輪 5 色（青・黒・赤・黄・緑）からなっており、競技台上の 5 カ所に配置されている。  
（配置は、図 1 および図 2 参照）（形と寸法は、図 3 参照）
5. 五輪置場は競技台に固定されている。
6. 会場/高台は仁科スタジアムに固定されていない。
7. スタジアム上空は縦 450 mm、横 600 mm、厚さ 5.5 mm のシナ合板で下端に五輪の輪の滑り止めをつけ、縦 560 mm、横 910 mm、厚さ 9 mm のラワン合板の土台に傾き 30° で固定されている。（設計図は、別紙参照）
8. 電源（交流 100 ボルト）は、各競技台より 1 m 離れた左端に置かれた 1 m × 1 m の台（ベニヤ板）の上に設置してある電源リールが使用できる。



図2. アイテムの積み方 (スタートから見た図)

【聖火台資材A】



【聖火台資材B】



【聖火台資材C】



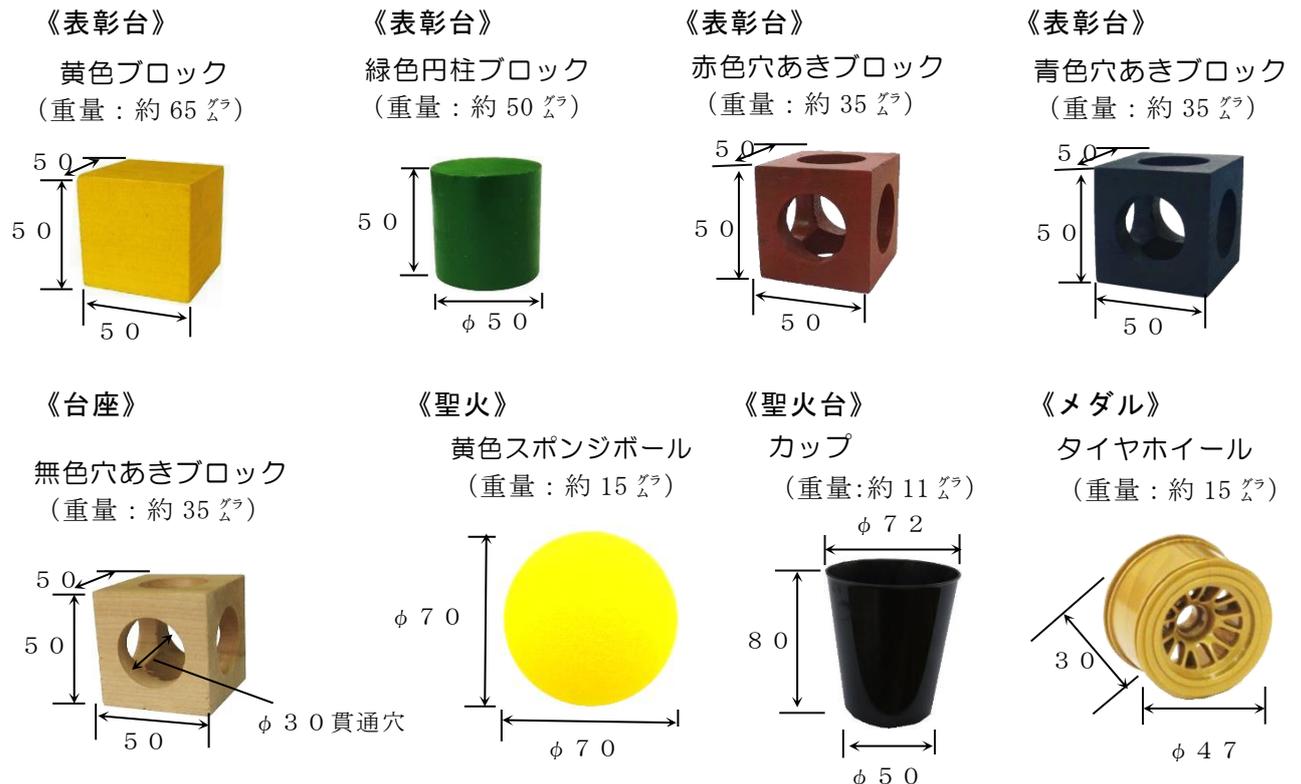
【表彰台資材】



【五輪置場】



図3. アイテムの外形と寸法・重量

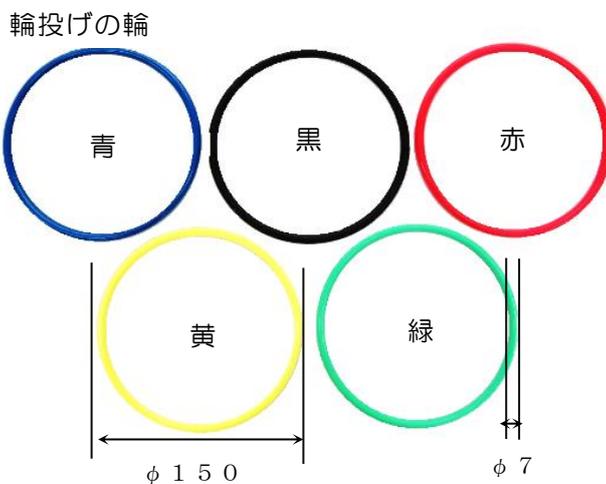


※今年よりヨネックス製からミズノ製に変更になりました。サイズは変更ありません。重量が約20グラムから約15グラムに変更になりました。

ポリスチレン製

※タミヤ  
ホップアップオプショズ  
金：品番 NO. 1527  
銀：品番 OP. 1201  
銅：品番 NO. 1528  
(銅のみ白色をスプレー塗料で塗っています)

《五輪》



『ネット』で  
『colorfylcoco 輪投げ 15 cm 5色』  
と検索してください。

直径：150ミリ  
輪幅：7ミリ  
重量：14.6グラム  
素材：プラスチック製  
多少の誤差はご了承下さい

図4. ゴールと障害物の外形 単位〔mm〕

【仁科スタジアム】 (重量：4,700 g)

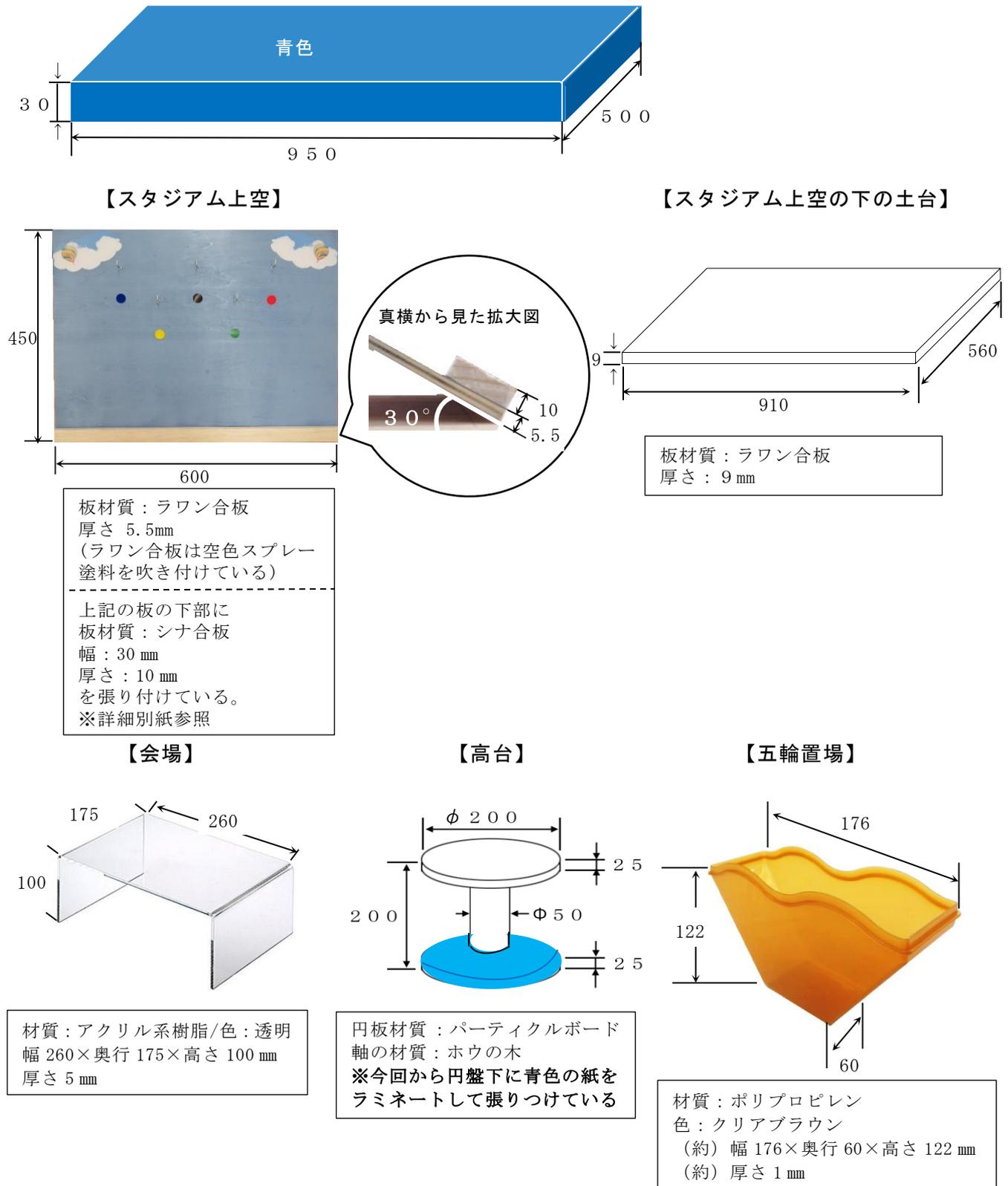


図5. バリケードの外形 (黄色に黒の縞模様) 単位〔mm〕



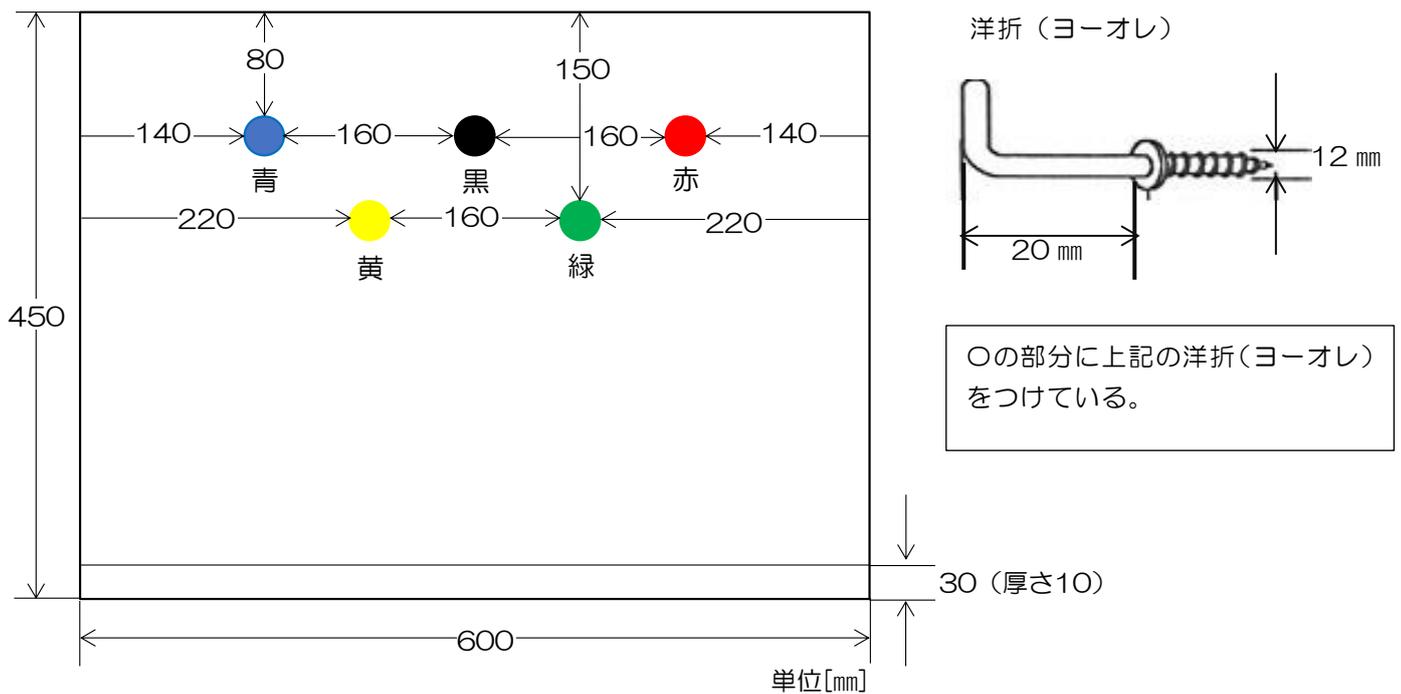
※中学校部門より難易度を上げるため、高等学校部門ではゴール前にバリケードを配置する。

図5. 競技台外観図



単位[mm]

スタジアム上空の五輪掛けの配置



ホームページにてご確認ください <http://www.kagaku.nishina.town.satosho.okayama.jp>